

第八十二回帝國議會 院 買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件

委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三號)
多額鐵道株式會社所屬新義州南間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三五號)

昭和十八年二月三日(水曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 横川 重次君

理事佐久間 渡君 理事坂東幸太郎君

青木 精一君

愛野時一郎君

内池久五郎君

加藤 俊夫君

小浦 總平君

高島龜太郎君

羽田武嗣郎君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 山崎 巖君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

鐵道次官 長崎惣之助君

鐵道監 平山 孝君

鐵道監 佐藤 榮作君

鐵道監 堀木 鎌三君

鐵道監 小林 紫朗君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

多額鐵道株式會社所屬新義州南間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○横川委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本

委員會ニ付託セラレテ居リマス法案ハ、北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案及ビ多額鐵道株式會社所屬新義州南間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案デアリマス、二案ヲ一括シテ議題ニ供シマス、先ヅ政府ノ説明ヲ求メマス

○八田國務大臣 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案提案ノ理由ハ、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデゴザイマスガ、昨年十月戰時陸運ノ非常體制確立ニ關スル基本方針ガ政府ニ於テ決定サレマシタ、鐵道省ニ於キマシテハ之ニ則リマシテ種々ノ方策ヲ立テマシテ隨時是ガ實施ヲ圖ツテ參ツテ居ル次第デアリマス、即チ或ハ幹線輸送力ノ増強ヲ圖ル方途ヲ講ジ、或ハ石炭中繼港ニ於ケル海陸連絡施設ヲ増強致シマス等、刻下緊急ノ施策ヲ急速ニ實現致スコトニ努メテ居ル次第デアリマス、今回地方鐵道買收致シタイト存ジマスルノモ此ノ方針ニ基クモノデアリマス、即チ北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一ノ地方鐵道ハ、或ハ幹線輸送網ノ整備擴充上、或ハ又海陸連絡施設ノ整備上、或ハ軍事上特ニ重要ナルモノデアリマシテ、何レモ戰時陸運非常體制ノ確立上之ヲ國有鐵道ニ編入致シマシテ、一體の運營ヲ圖ラントスルモノデアリマス、是等ノ鐵道ノ總延長ハ五四〇・七「キロメートル」デアリマシテ、其ノ建設費總額ハ約七千万圓ト

ナリマス、是等ノ會社ノ中ニハ兼業ヲ有スルモノガアリマスルガ、今回ハ兼業ハ買收致シマセス、是等ノ鐵道ノ買收ハ、御承知ノ通り、地方鐵道法ノ規定ニ依リ實行スルモノデアリマスガ、曩ニ鐵道會議ニ諮リマシテ、其ノ議ヲ經マシタノデ、本議會ニハ其ノ買收ニ要スル所ノ代價ノ支拂ニ充當致シマスル公債發行ノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、買收ノ代價ハ買收ノ日ガ確定致シマシタ上デ、地方鐵道法ノ規定ニ依リマシテ計算致スノデアリマス、尙ホ各鐵道毎ノ詳細ナル説明ハ政府委員ヨリ致サセタイト存ジマス、何卒宜シク御審議ノ程ヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○佐藤榮政府委員 私カラ今回買收セントスル地方鐵道ノ各鐵道ニ關シマシテ簡單ニ御説明致シタイト存ジマス、御手許ニ配付致シテアリマス參考書ガアリマスガ、其ノ中ニ各鐵道ノ地圖ガ入ッテ居リマスカラ、其ノ地圖ヲ御開キノ上御聽取リ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ北海道鐵道デゴザイマスガ、此ノ鐵道ハ大部分ガ鐵道敷設法豫定線ニ該當ヲシテ居リマス、其ノ一部ハ國鐵ノ邊富内線ノ建設ト相俟チマシテ、重要資源ノ開發上重要ナル役割ヲ果スモノデアリマス

次ハ鶴見臨港デゴザイマス、鶴見臨港鐵道ハ京濱港ノ臨港鐵道ト致シマシテ、重要道アルバカリデナク、其ノ沿線ハ國內有數

送力ヲ強化シテ、海陸連絡施設ノ整備調整ヲ圖ルコトハ、時局ニ鑑ミマシテ極メテ緊要ナルモノガアルノデアリマス

次ハ富山地方鐵道富山線デゴザイマス、富山地方鐵道富山線ハ工業地帯ヲ貫ク省線ト連絡スル富山港ノ臨港線デアリマス、富山港ハ裏日本ニ於ケル主要ナ石炭荷揚港デアリマシテ、本鐵道輸送力ヲ強化シ、海陸連絡施設ノ整備ヲ圖ラントスルモノデアリマス、尙ホ富山地方鐵道ハ曩ニ富山電氣鐵道株式會社ト申シテ居ッタノデアリマスガ、最近其ノ稱號ヲ變更致シマシテ、富山地方鐵道株式會社ト改稱致シタモノデゴザイマス

次ニ移リマシテ伊那電氣、三信、鳳來寺及ビ豐川ト四鐵道ヲ便宜上一括シテ御説明致シマス、此ノ四鐵道ハ大部分鐵道敷設法豫定線ニ該當シテ居リマスルシ、又此ノ四線ハ相連絡致シマシテ、中央本線ト東海道本線ト短絡スルモノデアリ、幹線輸送網ノ整備上緊要ナ鐵道デアリマス

次ニ播丹鐵道デゴザイマス、播丹鐵道ハ山陽ト山陰ノ兩幹線ヲ連絡スルバカリデナク、最近沿線ニハ重要工場ガ多數建設サレ、戰時下重要物資ノ輸送ガ増加シ、今後益々重要性ヲ増スモノデアリマス

次ニ參リマシテ、宇部鐵道及ビ小野田鐵道ヲ便宜上一括御説明致シマス、此ノ兩鐵道ハ沿線ニ宇部炭礦地帯ト、重要工場地帯トヲ擁スル主要ナ鐵道デアリマシテ、殊ニ

關門港ノ補助港タル宇部港及ビ小野田港ト山陽本線トヲ連絡シテ居リマシテ、生産力擴充上極メテ重要ナル地位ヲ有スルモノデアリマス

次ニ小倉鐵道ハ沿線ニ重要炭鑛地帯ヲ控ヘテ居ルノミデナク、國鐵ノ田川線方面ト門司、小倉方面トヲ短絡スルモノデアリマシテ、石炭其ノ他ノ生産力擴充物資ノ輸送ニ極メテ重要ナル役割ヲ果シテ居リマス
次ノ産業セメント鐵道ハ、省線ノ中間ニ介在シテ居リマシテ、石灰石、石炭等、生産力擴充物資ノ輸送上極メテ重要ナル鐵道デアリマス

以上ノ如ク是等十二鐵道ハ或ハ幹線輸送網ノ整備擴充上、或ハ海陸連絡施設整備上等ニ於キマシテ特ニ必要ナルモノデアリマス、要スルニ戰時陸運非常體制ノ確立上之ヲ國有鐵道ニ編入スルノ要緊切ナルモノガアルト認メマシタ所、今回はガ買収ヲ必要ト感ジタノデアリマス、是ガ爲ニハ買収代價トシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノデ、此ノ法律案ガ提出致サレタ譯デアリマス

○横川委員長 内務次官山崎巖君

○山崎政府委員 多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス

多獅島鐵道株式會社ノ往營ニ屬シマスル新義州南市間ノ鐵道ハ、朝鮮國有鐵道京義線ニ依リマスル新義州南市間ヲ西側ヨリ結ブ延長三十餘「キロ」ノ私設鐵道デゴザイマスルガ、此ノ私設鐵道ハ東側ノ國有鐵道ニ比シマシテ、路線ガ平坦デアリマスルノミナラズ、距離ニ於キマシテ十一「キロ」ノ短縮トナリマスルノデ、之ヲ國營ニ統一一致シ

マシテ、目下工事中ノ京義線複線工事ノ完成ニ資シマスルト共ニ、大陸幹線輸送力ノ確保增強並ニ、朝鮮國境地方ニ於キマスル海陸運輸系統ノ整備ヲ圖リマスル爲ニ、昭和十八年度ニ於キマシテ之ヲ買収スルノ計畫ヲ立テマシタル所、是ガ爲ニハ買収價格トシテ交付スル公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、是ガ公債發行ニ關スル本法律案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御賛成ヲ御願ヒ申上ゲル次第デゴザイマス

○横川委員長 直チニ質疑ニ入りマス——新井堯兩君

○新井委員 鐵道省提案ノ北海道鐵道外十一鐵道ノ買収ト、尙ホ續イテ朝鮮ノ鐵道ノ買収ニ付テ私ノ希望質問ヲシタイト思ヒマス

政府ガ此ノ度此ノ大戰時下ノ必要ノ爲ニ港灣ノ連絡、或ハ幹線ノ整備、軍事上重要ナ點カラ見マシテ、北海道鐵道外十一地方鐵道ノ買収法案ヲ提出致サレタ理由ニ付キマシテハ、十分本會議ナリ、又今大臣ノ御説明ニ依ツテ諒承致シマシタ、併シナガラ一方 御稔威ノ下皇軍ノ赫々タル武勳ノ結果、戰爭地域ガ非常ニ擴大シテ參リマシタ爲ニ、船舶ヲ要スルコトガ益、多クナツタ、其ノ結果沿岸地方ニ使用シテ居リマシタ船舶ヲ其ノ方ニ轉用シナケレバナラス、從來九州トカ四國トカ、北海道方面ノ物資ハ、主

ニ機帆船ナリ小型船舶ニ依ツテ水上輸送ヲシテ居ツタガ、ソレヲ陸上輸送ニ轉化シナケレバナラスト云フ今モ大臣ノ御話ガアリマシタヤウニ度々御發表ガアリマシタ、主ニ其ノ結果多量ノ石炭ヲ内地ニ輸送シナケレバナラスト云フ御計畫ガアルヤウニ拜承シテ居リマス、斯ノ如キ多量ノ物資ヲ陸

運ニ依ツテ内地ニ輸送シマスルニハ、相當ナ主要幹線ノ補強ナリ、改良ナリ、或ハ多數ノ車輛等ヲ要スルと思フノデアリマス、之ニハ相當資金ガ要ルト思フノデアリマス、今度ノ豫算ニモ一億六千萬圓バカリノ車輛費、或ハ一億數千萬圓ノ線路改良費ガ出テ居リマスガ、私ノ考ヘマス所デハ、ソレデハ到底足りヌスト思フノデアリマス、主要幹線ノ完備ガ出來ナイ前ニ、此ノ十二鐵道ヲ買収スル爲ニハ、七千萬圓ノ建設費ヲ云フ御話デアリマスカラシテ、同ジク一億萬圓以上ノ金ガ要ルト思ヒマス、主要幹線ノ整備ガ出來テ然ル後ニ、此ノ十二鐵道ヲ買収ナサルト云フ順序ト心得マスノデ、恐ラク鐵道省ト致シマシテハ、前段ノ主要幹線ノ整備或ハ車輛ノ增強ト云フコトニ付テ十分ニ御確信ガアルト存ズル次第デアリマスカラシテ、先ヅ其ノ點ニ付テ私數點ノ質問ヲ致シマシテ、其ノ外ニ尙ホ一般質問ト致シマシテ數點御質問致シタイト存ジマス

海陸ノ輸送力ノ綜合的發展ト云フコトハ、勿論生産擴充上、或ハ戰力ノ增強上刻下緊急ノ要務ト思ヒマス、先程申シマシタヤウニ、船舶ノ輸送力ガ色々ナ事情カラ逼迫シテ參リマシタ爲ニ、陸運ハ海運ニ對シテ凡ユル援助ヲシナケレバナラスト云フコトハ當然ト心得マス、其ノ爲ニ國有鐵道ヲ幹線トスル陸運ノ綜合體制確立、例ヘバ私設鐵道、自動車ト睨ミ合セマシテ、綜合體制ノ確立ヲ期シテ國內ノ陸上運輸機關ヲ打ツテ一丸トナシテ有機的一體ノ能率ヲ上ゲマシテ、以テ海陸輸送ノ綜合能力發揮ヲ圖ラネバナラスト存ズル次第デアリマス、政府ハ曩ニ度々戰時輸送ノ非常體制ノ確立ニ付キマシテ方針ヲ御決定ニナツタト云フ御發表ガアリマシタ、私

ノ承知致シマス所ニ依リマスレバ、支那事變以來國有鐵道ノ輸送量ハ殆ド倍加シテ居リマス、併シナガラ其ノ施設ニ付テ、資材ノ不足等モ件ツテ居ルト存ジマスガ、其ノ倍加ニ對應スルダケノ施設ガヤツテナイト私ハ心得ルノデアリマス、現在ノ施設ニ依ツテドウシテ此ノ大量ノ輸送ガ完遂出來ルカト云フコトヲ私ハ憂フルモノデアリマス、尙ホ此ノ上海運ノ貨物ノ大量ナルモノヲ御引受ニナルト云フ御話デアリマスルガ、此ノ能力ガアルカ否カト云フコトガ非常ニ憂慮セラレル次第デアリマシテ、先ヅ此ノ點ヲ拜聽致シタイト存ズル次第デアリマス、陸運ノ非常體制、當初ハ石炭ヲ主トスルヤウニ拜聽シテ居リマシタ、又其ノヤウニ計畫セラレテ居ルヤウニ拜聽シテ居リマシタ、併シナガラ石炭バカリガ重要デアアルノデナクテ、其ノ他ノ重要物資ニ轉化シテ參リマスモノガ少クナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ戰力增強ニナクテハナラナイ所ノ鐵トカ、鋼トカ云フモノニ對シテハ原料材、或ハ製品等ノ陸運ニ依ラナケレバナラスモノガ非常ニ多イト思フノデアリマス、其ノ他木材「セメント」ノヤウナ物資ガ生産力擴充上非常ニ必要デアリマスカラシテ、是等ノ増加ガ尙ホ可ナリアルと思フノデアリマス、ノミナラズ國家ガ計畫化シテ統制サレテ居リマス其ノ外ノモノニ付テモ、相當澤山ノモノヲ引受ケナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、政府ハ今マデノ改良デ十分ノ御確信ガアルカ否カト云フコトヲ承リタイト存ズル次第デアリマス、次ニハ斯ノ如キ多量ノ貨物ヲ陸運ニ御引受ケニナツタ以上ハ、後ニモ伺ヒマスガ、相當旅客列車ヲ減サナケレバナラスト——委員

長カラシテ一問一答ヲ云フコトノ御注意
ガアリマシタカラ……

○横川委員長 サウデナクテモ宜イガ、其
ノ方ガハツキリシマスカラ……

○新井委員 サウデスカ、一問一答ニシマ
セウ、ソレデハ一ツソコデ御願ヒ致シマス

○八田國務大臣 只今新井議員ヨリ此ノ
鐵道買収ニ關聯シテ其ノ根本ヲ成シマスル
鐵道輸送ノ現在並ニ將來ニ對シマシテ、根
本的ナル御尋ネガアツタノデゴザイマス、
私ヨリ一應此ノ點ニ付キマシテ御答ヘ申上
ゲマシテ、尙ホ詳細ニ付テ御尋ネガアリマ
スレバ政府委員ヨリ御答ヘヲ申上ゲタイト
存ジマス、只今御話ノアリマシタ通り、鐵道
ノ、殊ニ國有鐵道ノ輸送量ハ支那事變勃發
以來御承知ノ通り非常ナ急激ナル増加ヲ示
シタノデアリマス、是ハ恐ラク其ノ比較的ノ
數字又殊ニ其ノ絶對的ノ數字ニ於キマシ
テハ、過去ノ鐵道ノ歴史ニ會テナイ程ノ
急激ナル上昇率デアアルノデアリマス、ソ
コデ只今御尋ネニアリマシタ通り、政府
ハ昨年十月、所謂戰時陸運非常體制ノ確
立ニ關スル基本方針ヲ閣議ニ於テ決定致シ
タノデアリマスガ、是ハ只今御觸レニナリ
マシタル通り、石炭ヲ主ナル目的トシテ、
海上ノ輸送カラ之ヲ陸上ノ輸送ニ移ス、
尙ホ順次他ノ重要ナル、戰時下必要ナル物
資ニシテ、從來海運ニ依ツテ輸送サレテ居
ツタモノヲ極力陸上ニ移ス、斯ウ云フ方針
デアリマスルガ、元來陸運ト海運トハ申ス
マデモナク其ノ輸送ノ分野ニハツキリシタ
區別ガアル譯デアリマス、殊ニ日本ノ如キ
周圍ガ海ヲ以テ繞ラサレテ居リマスル地形
ノ點カラ申シマシテモ、從來崇高デアリ、
重量デアリ、而モソレガ遠距離ニ輸送サレ

マサル場合ハ必ズ是ガ海運ニ依ツテ輸送ヲ
サレテ參ツタノデアリマス、事變以來暫ク
ノ間ハ從來ノ自然ノ輸送分野ニ依ツテ海陸
協力シテ參ツタノデアリマスガ、段々事變
ガ進シテ參リマスニ從ヒマシテ、從來海運デ
輸送サレマシタモノハ自然ニ陸運ニ轉化シ
ツツアル所ノ傾向ガ段々現ハレテ參リマシ
タガ、大東亞戰爭ノ勃發ニ伴ヒマシテ、申
スマデモナク戰線ノ急激ナル擴大、作戰地
域ノ急激ナル擴大ニ依リマシテ、海上輸送
ニ必要ナル船腹ハ幾ラアツテモ足リナイ、
而シテ陸上ニ轉移シツツアル所ノ傾向ハ次
第二顯著ニナツテ參ツタノデアリマス、然
ルニ只今御質問ノ要點ニナツテ居リマス鐵
道ノ方ヲ見マスルト、其ノ施設準備ト云フ
モノハ極メテ不足ナノデアリマス、ソレハ
既ニ支那事變勃發後間モナク鐵道省ト致シ
マシテハ、其ノ急激ナル輸送狀況ヲ達觀致
シマシテ、將來ニ備ヘル爲ニ是ガ輸送力ヲ
増加スル諸般ノ施設整備ノ計畫ヲ立テタノ
デアリマスケレドモ、申スマデモナク戰時
下資材勞務等ノ關係カラ致シマシテ、是ガ
意ノ如クナラナカッタノデアリマス、隨ヒマ
シテ既ニ手一パイノ所ニ更ニ海上ヨリ轉移
スルモノガ加ハリマスルナラバ、是ハ中々
容易ナコトデハナイノデアリマス、併シナ
ガラ國家全體カラ見マシテ此ノ戰爭ヲ勝拔
ク爲ニハ、國內ニ於ケル生産擴充並ニ國民生
活ノ最小限度ヲ確保シテ參リマス爲ニハ、生
産配給消費ノ間ニ必ズ介在致シマスル此ノ
輸送ト云フ問題ニ付キマテハ、ドウシテモ
ドコマデモハ確保シテ參ラナケレバナラ
スノデアリマス、若シ陸ハ海ニ頼リ、海ハ
陸ニ頼ツテ其ノ儘推移致シマスルナラバ、日
ト共ニ海上ノ輸送ハ困難トナリ、而モ陸上

ニ移リマシタ場合ニ於テ、之ニ對スル準備
ガナカッタナラバ、茲ニ戰時下ノ生産擴充
増強ノ上ニ重大ナル結果ヲ招來致スト云フ
コトヲ私共ハ痛感致シマシテ、大東亞戰爭
開始ト共ニ、實ハ此ノ問題ニ付キマシテ色
色ト考慮ヲ廻ラシテ居ツタノデアリマス、
昨年十月此ノ非常體制ニ對シマシテ、進
デ陸上ニ於テ此ノ海上輸送ノ重要貨物ヲ引
受ケヨウト云フ決心ヲ致シタノデアリマス、
而シテソレガ閣議決定ヲサレタ次第デアリ
マスガ、是ハ實ハ御話ノ如ク容易デナイノ
デアリマス

○新井委員 大體ノ御方針ハ大臣ノ御説明
デ分リマシタガ、少シク細カイ所ニナリマ
スガ、政府委員カラデモ御答辯願ヒタイト
思ヒマス、大臣カラノ御話デ車輛ノ整備ナ
リ、線路ノ改良ナリ、此ノ輸送ヲ引受ケル
爲ニ最小限度ノ施設ヲスルノダト云フ御話
デアリマシタガ、併シ私ノ知ル範圍ニ於キ
マシテハ、中々機關車ナリ貨車ガサウ急ニ
出來ルトモ思ヘマセス、又線路ノ補強ニ付
キマシテモ、西ノ方カラ申シテ參リマスレ
バ、山陽線等ハ從來瀬戸内ノ海上輸送ニ依
ツテ居ツタ貨物ガ非常ニ多イノデアリマス、
隨ヒマシテ山陽線ノ如キモノハ、寧ろ旅客
鐵道ト考ヘテ宜シカウツヤウナ設備ガシテ
アルノデアリマス、ソレニ九州カラ突如ト
シテ數百萬「トン」ノ石炭ヲ送り、其ノ他ノ重
要資源ヲ送ルト云フコトニ付キマシテハ、
非常ナ改良ヲシナケレバ難カシイデヤナイ
カト云フヤウナコトヲ私考ヘルノデアリマ
シテ、此ノ點ニ付テ不十分ナ點ガ非常ニ多
イデヤナイカ、之ニ對スル御對策ガ若シ御
發表出來レバ伺ヒタイト存ジマス、山陽線
ハソレノミナラズ、マダ單線ノ所ガアル筈デ

ニ移リマシタ場合ニ於テ、之ニ對スル準備
ガナカッタナラバ、茲ニ戰時下ノ生産擴充
増強ノ上ニ重大ナル結果ヲ招來致スト云フ
コトヲ私共ハ痛感致シマシテ、大東亞戰爭
開始ト共ニ、實ハ此ノ問題ニ付キマシテ色
色ト考慮ヲ廻ラシテ居ツタノデアリマス、
昨年十月此ノ非常體制ニ對シマシテ、進
デ陸上ニ於テ此ノ海上輸送ノ重要貨物ヲ引
受ケヨウト云フ決心ヲ致シタノデアリマス、
而シテソレガ閣議決定ヲサレタ次第デアリ
マスガ、是ハ實ハ御話ノ如ク容易デナイノ
デアリマス

○新井委員 大體ノ御方針ハ大臣ノ御説明
デ分リマシタガ、少シク細カイ所ニナリマ
スガ、政府委員カラデモ御答辯願ヒタイト
思ヒマス、大臣カラノ御話デ車輛ノ整備ナ
リ、線路ノ改良ナリ、此ノ輸送ヲ引受ケル
爲ニ最小限度ノ施設ヲスルノダト云フ御話
デアリマシタガ、併シ私ノ知ル範圍ニ於キ
マシテハ、中々機關車ナリ貨車ガサウ急ニ
出來ルトモ思ヘマセス、又線路ノ補強ニ付
キマシテモ、西ノ方カラ申シテ參リマスレ
バ、山陽線等ハ從來瀬戸内ノ海上輸送ニ依
ツテ居ツタ貨物ガ非常ニ多イノデアリマス、
隨ヒマシテ山陽線ノ如キモノハ、寧ろ旅客
鐵道ト考ヘテ宜シカウツヤウナ設備ガシテ
アルノデアリマス、ソレニ九州カラ突如ト
シテ數百萬「トン」ノ石炭ヲ送り、其ノ他ノ重
要資源ヲ送ルト云フコトニ付キマシテハ、
非常ナ改良ヲシナケレバ難カシイデヤナイ
カト云フヤウナコトヲ私考ヘルノデアリマ
シテ、此ノ點ニ付テ不十分ナ點ガ非常ニ多
イデヤナイカ、之ニ對スル御對策ガ若シ御
發表出來レバ伺ヒタイト存ジマス、山陽線
ハソレノミナラズ、マダ單線ノ所ガアル筈デ

ニ移リマシタ場合ニ於テ、之ニ對スル準備
ガナカッタナラバ、茲ニ戰時下ノ生産擴充
増強ノ上ニ重大ナル結果ヲ招來致スト云フ
コトヲ私共ハ痛感致シマシテ、大東亞戰爭
開始ト共ニ、實ハ此ノ問題ニ付キマシテ色
色ト考慮ヲ廻ラシテ居ツタノデアリマス、
昨年十月此ノ非常體制ニ對シマシテ、進
デ陸上ニ於テ此ノ海上輸送ノ重要貨物ヲ引
受ケヨウト云フ決心ヲ致シタノデアリマス、
而シテソレガ閣議決定ヲサレタ次第デアリ
マスガ、是ハ實ハ御話ノ如ク容易デナイノ
デアリマス

アリマス、其ノ單線ノ點ヲ此ノ際ドウ處置ナサルカト云フコトモ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
又次ニ東北方面ニ參リマス、御發表ノ如クンバ北海道ノ石炭ヲ相當御輸送ナサルト云フ御話デアリマス、北海道カラハ石炭バカリデナク、其ノ外ノ資材モ相當コナラヘ參ラナケレバナラスト思フノデアリマス、從來ハ鹽釜ナリ、或ハ京濱港等ノ海上輸送ニ依ツテヤツテ參リマシタ此ノ輸送ヲ、直チニ陸運ニ轉換致シマスルニ付キマシテハ、アノ單線區間ノ長イ東北線ヲドウスルカ、或ハ北海道、本州トノ貨車航送ヲシテ居ル施設ヲドウスルカト云フコトモ伺ヒタイト存ズル次第デアリマス、又先程伺ヒマスト、裏日本カラ石炭ヲ御揚ゲニナルト云フヤウナ御話デアリマシタ、裏日本ハ殆ド單線デアリマス、又裏日本カラハ東海道方面ニ出テ參ル橫斷線ハ殆ド單線デアリマス、此ノ弱體ナル線路デ多量ノ石炭ヲ送ルコトニ御確信ガアルカドウカ、或ハ其ノ以外ノ資材ヲ送ルノニ御確信ガアルカドウカ、之ヲ綜合致シマスルト、御話ノヤウニ貨車ナリ機關車ナリガ十分出來マシテ、貨物ヲ送ルト云フコトニ相成ツタト致シマシテモ、線路ガサウ急ニハ出來ヌト存ジマスニ付キマシテハ、旅客列車ヲ相當多數規制セナケレバナラスト思フノデアリマス、若シ規制セズニ濟メバ非常ニ結構ダト思ヒマスガ、最近デハ貨物優先、旅客列車ハドンドン取消スノダト云フヤウナコトガ言ハレルヤウデ、其ノ響キハ宜シイノデアリマスケレドモ、經濟活動ノ上ニ於テ人間ガ動カナケレバ生産力擴充モ、或ハ物資ノ輸送モ相當困難ダト思フノデアリマス、此ノ旅客列車ノ規制ト云フコトハ已ムヲ得ナイト思

ヒマスガ、國民ニ對シテ斯ウ云フ必要カラ旅客列車ノ規制ヲスルノデアルト云フコトヲ知ラシメタイト思フ點カラ、貨物輸送ノ十分ナル御確信ガアル以上ハ、此ノ點ニ一ツ言及シテ旅客列車ノ規制ト云フコトモ御話シ願ヒタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣 私ヨリ一應ノ考ヘ方ダケ申上ゲマシテ、只今御尋ネノ線路ノ補強等ニ付キマシテハ政府委員カラ御答申上ゲタイト存ジマス、全ク御話ノ通り、先程申述ベマシタ如ク、此ノ海上輸送ノ轉移ト云フ問題ニ付キマシテハ、凡ユル觀點カラシテ、鐵道運賃ノ上ニハ勿論、又旅客輸送ト云フ國民日常生活ノ上ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私共ハ是等ノ點ニ付キマシテ出來ルダケ十分ナル考慮ヲ繞ラシツツ、效果ナル方法ニ依ツテ實施シテ參リタイト實ハ非常ニ苦心ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、施設ノ點ニ付テ今色々御舉ゲニナリマシタガ、是ハ後程具體的ニ政府委員ヨリ御答ヘ申上ゲルト致シマシテ、先程一寸申上ゲマシタガ、ドウシテモ最小限度ノ施設ヲシナケレバナラスト、而モソレヲ急遽ニヤラナケレバナラスト、而シテ一方ニハ資材勞務ト云フヤウナ關係ガサウ容易ニハ參ラヌソコデ私共ノ之ニ對スル考ヘ方ト致シマシテハ、先ヅ現在アルモノヲ、ソレガ施設デアリマセウトモ、固定シタ設備デアリマセウトモ、或ハ車輛ノ如キ鐵道器材ニ致シマシテモ、之ヲ最モ有效ニ此ノ方向ニ向ツテ活用スル、サウシテ又現在マデ進ンデ參リマシタ例ヘバ改良計畫ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、此ノ海上轉移ト云フコトニ對スル基本方針ヲ決定シマセタ前ト後トヲ比較致シマスルト、過去

ニ於テ計畫セラレタモノガ、實ハ調子ガ實際ノ輸送ノ狀況トハ合ハナイモノガ生ジテ參ツタ譯デアリマス、即チ今マデハ當然陸上デ輸送スルモノヲ目安ニ、ソレガ増大シテ行クト云フコトヲ目途トシテ施設ノ計畫ヲ立テテ參ツタノデアリマス、所ガ今マデ輸送スルコトヲ考ヘナカツタ所ノ從來ノ海上輸送ノモノガ陸ニ揚ツテ參ルノデアリマスカラ、今ハ表門バカリデナク、裏門カラモ貨物ガ海カラ揚ツテ參ルト云フノデ、既ニ過去ニ於テハ事變以來量ニ於テ非常ナ増加ヲ來タシタ外ニ、輸送ノ質ノ上ニ於テ非常ナ變化ヲ來タシタノデアリマスカラ、從來ノ計畫ノ中ニハ大イニ考ヘ方ヲ變ヘナケレバナラスト點ガ多クアリマスノデ、是等ノ計畫竝ニ施設ニ對シテ再檢討ヲ加ヘツツアルノデアリマス、而シテ其ノ流用シ得ルモノハ之ヲ出來ルダケ新シキ考ヘ方ノ方ヘ流用シ活用シテ行ク、即チ一言ニシテ申セバ、現有施設ヲ出來ルダケ活用流用致ス、ソレカラ同ジ施設ヲ致スニシマシテモ、從來ノ如ク永久の施設ト云フコトハ中々考ヘラレマセヌノデ、假ノ施設デ間ニ合ハセル、又資材ニ致シマシテモ出來ルダケ其ノ使ヒ方ヲ節約スル、或ハ代用資材ヲ以テ之ニ置替ヘテ行クト云フヤウニ、所謂頭ヲ戰時ニ切換ヘル、隨ヒマシテ計畫ニ致シマシテモ、工事ノ施行方法ニ付キマシテモ、是ガ運營ニ付キマシテモ、所謂戰時企畫ニ依ツテ總テノ施設ヲ致シテ參リタイト考ヘルノデアリマス、斯様ニ致スコトニ依ツテ、中々先程申シマシタヤウニ容易デナイコトデハアリマスルガ、出來ルダケノコトヲ致シテ參ル、資材ニ付キマシテモ、場合ニ依リマシテハ、實際必要ナ物デモ一時ソレヲ取外シテ、此

ノ方面ニ振向ケテ、又他日ソレニ對シテ施設ヲ戻スト云フヤウナコトモ考ヘテ、謂ハバ極度ニ資材ノ活用、設備ノ利用ト云フコトヲ強ク考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ特ニ申上ゲテ置キタイト存ズルノデアリマス、併シナガラ如何ニ斯様ナ考ヘ方ヲ以テ最小限度ノ施設ヲ致シマシテモ、只今御指摘ニナリマシタルヤウニ線路ノ容量、輸送力ト云フモノニハ一定ノ限度ガアリマサルカラ、自ラ此ノ貨物輸送ト云フモノノ部面ガ殖エテ參リマスレバ、其ノ一定ノ線路ノ上ニ於ケル所ノ旅客列車ノ輸送力ト云フモノハ、之ヲ抑制シナケレバナラストニナルノデアリマス、此ノ旅客輸送ノ抑制ト云フコトハ、事變以來段々ト致シテ參ツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマスルガ、此ノ非常體制確立ニ伴ヒマシテ格段ナル考ヘ方ヲ以テ進ンデ居ル譯デアリマス、即チ近距離列車、是ハ私カラ申上ゲルマデモナク、近來大都會ノミナラズ、中小ノ都會、或ハ其ノ他ノ地方ニ工場ガ非常ナ勢ヒヲ以テ新設、増加サレマシタノデ、其ノ住宅等ノ關係カラ致シマシテ、其ノ附近ノ交通ト云フモノハ當然列車ニ依ルノデアリマス、隨ヒマシテ近距離輸送ノ列車ト云フモノハ、大都會ノミナラズ、全國到ル處ニ増加シテ參ツタノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ將來ニ於キマシテモ之ヲ確保シテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、工員ノ輸送、學生ノ通學ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、何處マデモヤラナケレバナリマセヌガ、其ノ他ノ一般ノ旅客ニ付キマシテハ、望ム所デハナイノデアリマスケレドモ、當然此ノ貨物輸送ノ増加ト共ニ、自然ニ壓縮サレテ行クトハ免レナイノデアリ

マシタ、此ノ點ニ對シテ計畫セラレタモノガ、實ハ調子ガ實際ノ輸送ノ狀況トハ合ハナイモノガ生ジテ參ツタ譯デアリマス、即チ今マデハ當然陸上デ輸送スルモノヲ目安ニ、ソレガ増大シテ行クト云フコトヲ目途トシテ施設ノ計畫ヲ立テテ參ツタノデアリマス、所ガ今マデ輸送スルコトヲ考ヘナカツタ所ノ從來ノ海上輸送ノモノガ陸ニ揚ツテ參ルノデアリマスカラ、今ハ表門バカリデナク、裏門カラモ貨物ガ海カラ揚ツテ參ルト云フノデ、既ニ過去ニ於テハ事變以來量ニ於テ非常ナ増加ヲ來タシタ外ニ、輸送ノ質ノ上ニ於テ非常ナ變化ヲ來タシタノデアリマスカラ、從來ノ計畫ノ中ニハ大イニ考ヘ方ヲ變ヘナケレバナラスト點ガ多クアリマスノデ、是等ノ計畫竝ニ施設ニ對シテ再檢討ヲ加ヘツツアルノデアリマス、而シテ其ノ流用シ得ルモノハ之ヲ出來ルダケ新シキ考ヘ方ノ方ヘ流用シ活用シテ行ク、即チ一言ニシテ申セバ、現有施設ヲ出來ルダケ活用流用致ス、ソレカラ同ジ施設ヲ致スニシマシテモ、從來ノ如ク永久の施設ト云フコトハ中々考ヘラレマセヌノデ、假ノ施設デ間ニ合ハセル、又資材ニ致シマシテモ出來ルダケ其ノ使ヒ方ヲ節約スル、或ハ代用資材ヲ以テ之ニ置替ヘテ行クト云フヤウニ、所謂頭ヲ戰時ニ切換ヘル、隨ヒマシテ計畫ニ致シマシテモ、工事ノ施行方法ニ付キマシテモ、是ガ運營ニ付キマシテモ、所謂戰時企畫ニ依ツテ總テノ施設ヲ致シテ參リタイト考ヘルノデアリマス、斯様ニ致スコトニ依ツテ、中々先程申シマシタヤウニ容易デナイコトデハアリマスルガ、出來ルダケノコトヲ致シテ參ル、資材ニ付キマシテモ、場合ニ依リマシテハ、實際必要ナ物デモ一時ソレヲ取外シテ、此

マス、之ニ付キマシテモ同ジク壓縮ヲ致シマシテモ、十分時局ノ要請ノ必要度ニ應ジマシテ、出來ルダケノコトハ致シテ参リタイト考ヘテ居リマス、此ノ旅客列車ノ今後ノ方針等ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ御答へ申上ゲタイト存ズルノデアリマス

○堀本政府委員 大體ノ原則的ナ御話ハ大臣カラ申上ゲマシタ通りデゴザイマス、少シク具體的ニ補足致シマス、今回提出致シマシタ豫算ニ關聯致シマシテモ、北海道炭ノ内地直送ニ關聯致シマス所ノ施設、及ビ九州炭ノ内地直送ニ關シマス所ノ施設、而モソレガ急速整備ヲ致サナケレバナラスト云フ風ナ關係ノ工事、或ハ航送船ノ問題ト云フ風ナ問題ニ付キマシテハ、最小限度ノモノハ各方面ニ互リマシテ提出致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ旅客列車ノ規制ト申シマスカ、壓縮サレル事態ト云フモノハ、私共ト致シマシテモ先程ノ大臣ノ趣旨ニ依リマシテ、重要物資ノ陸運ニ轉移シテ参リマスル度合ヒニ應ジテ、之ヲ已ムヲ得ズ致サナケレバナラスト云フ風ナコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、殊ニ先程新井委員カラ御指摘ニナリマシタヤウニ、石炭ノミヲ主タル目標ト致シマシタ考ヘデハ、ドウシテモ現在ノ戰力増強ノ觀點カラ見マスト十分デアリマセス、隨テ御承知ノ通りノ超重點物資ノ陸運對策ニ付キマシテハ、刻下ノ事情カラ極力轉移致サナケレバナナイト考ヘテ居リマス、是等ノモノハ數量的ニ見マシテ、又之ヲ運ビマス所ノ距離的ニ見マシテ、非常ナ數字ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ動力車或ハ線路容量ノ關係カラ、相當數ノ旅客規制亦已ムヲ得ザルモノカト考ヘルノデアリマス、實ハ戰時

陸運ノ非常體制ガ確立致シマス、右カラ左ニ旅客列車ガ非常ニ少クナルト云フコトヲ豫想サレル方面モアリマシタガ、今ノヤウナ方針ニ從ヒマシテ重要物資ノ陸運轉移ニ從ヒマシテ考ヘテ居ル次第デアリマス、本年ニ於キマシテハ場合ニ依リマス、最近ニ於キマシテ更ニモウ一回ハ必ズ起ルト思ヒマスガ、現在運行シテ居リマス所ノ旅客列車ヲ維持致スコトガ出來ナイト云フ事情ニアルト考ヘテ居リマス

○小林(紫)政府委員 施設ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲマス、只今御話ノアリマシタ西ノ方カラ申上ゲマス、山陽線ハ御話ノ通り非常ニ弱體デアリマス、併シ今目ノ前ノ問題ニ差掛リマシタノデ、幸ヒニシテ從來ノ工事ヲ進メテ居リマシタ柳井線ノ單線區間ノ複線化ノ問題、是ハ目下工事中デアリマスガ、特ニ急ギマシテ全力ヲ集中シテ複線化致シ、其ノ次ニ隘路トナリマスノハ吳線デアリマスガ、是モ只今海田市、吳間ノ複線工事ヲ極力急イデ居リマス、山陽線ノ線路ノ問題ハソレダケデアリマス、其ノ外尙ホ信號ノ改良、或ハ保安設備ノ改良ト云フコトヲ急速ニ實施シマシテ、今回ノ要請ニ應ズル段取りヲ著々付ケテ居リマス、東海道線ニ於キマシテハ、只今一番ノ隘路ト考ヘラレマスノハ大津ト京都間、是ハ先年來一線増設ノ工事ヲヤツテ居リマス、是モ特ニ工ヲ急ギマシテ、一日モ早く運轉開始ノ運ビニ達シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、次ノ大キナ隘路ハ關ヶ原附近ノ問題デアリマス、是ハ本年度特ニ新シク工ヲ起シマシテ、急速實施ヲ致ス豫定デアリマス、操車場ニ關シマシテハ、廣島附近ノ操車場、是ハ繼續シテ工事ヲヤツテ居ツタノデアリマスガ、幸

ヒニシテ或ル程度使用開始スル運ビニナリマシタノデ、アノ附近ノ操車能力ハ相當付クモノト考ヘテ居リマス、東海道線ニ於キマシテハ吹田、稻澤等ノ操車場ガ近々或ル程度ノ完成ヲ見マスノデ、是モ從來ニ比ベマス可ナリ力ヲ得タト、斯様ニ考ヘマス、併シナガラ全體ト致シマシテハ操車能力ガ非常ニマダ不足ナノデアリマス、本年改メテ濱松附近ニ懸急ノ施設ヲ致シマシテ、此ノ困難ヲ乗切ルト云フ計畫デアリマス

次ニ北ノ方デアリマスガ、東北本線ニ於キマシテハ、現在隘路トナツテ居リマスノガ仙臺ノ少シ先ノ岩切一ノ關ノ間ノ急勾配區間デアリマス、是ハ同ジク十八年度ニ於キマシテ急速ニ著手致シマシテ、所謂突貫工事デ工事ヲ進メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ青函連絡、其ノ他函館青森ノ水陸連絡設備及ビ其ノ背後ニアリマスル五稜郭ノ操車場及ビ青森ノ操車場ト云フヤウナモノヲ同ジク急速ニ施工スルコトニナツテ居リマス、是ハ繼續シテヤツテ居ル譯デアリマス、併シナガラサウ云フヤウナ大キナ工事モ直グニ明日カラ役ニ立ツト云フ譯ニハ參リマセスノデ、其ノ間ヲ補ヒマスル爲ニハ、單線區間ニ於キマシテハ信號所ヲ數箇所増設致シマシテ、列車回數ヲ殖ヤスト云フ應急對策ヲモ講ジテ居ル譯デゴザイマス

リマス、鋼材チンカモ非常ナモノガ必要デヤナイカト存ズル次第デアリマス、過般ノ祕密會デ鋼材ノ數字ヲ伺ヒマシタガ、アレダケノ鋼材シカナイノニ、鐵道省ガ多量ノ鋼材ヲ取ルト云フコトガ見込ガアルノカドウカト云フコトニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ニ今マデノ御話ノヤウナ施設ヲ車輛ナリ、線路ナリニ急速ニシナケレバナラスト云フコトニ付キマシテハ、一體下ノ位ノ時間デソレヲ御完成ニナル御考ヘデアリマス、是モ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、又先程大臣ハ現有資材ノ流用トカ活用トカ、或ハ假施設トカ、或ハ代用品トカ云フヤウナ御話デアリマシタガ、少シ細カクナリマスガ、線路トカ何カノ施設ノ規格ノ低下、今マデハ此ノ線路ニハコンナ貨車ハ入レナイノダト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマシタ線路上ニ、低下シテ其處ヘ入レルト云フヤウナコト、或ハ大陸方面デヤツテ居リマス貨車ノ増積ト云フヤウナコトナンカヲオヤリニナル御考ヘガアリマスカドウデセウカ、是ハ此ノ戰時ヲ乗切ル上ニ於キマシテ貨物ノ量ヲ餘計送ル意味ニ於テ必要ダト私ハ信ズルノデアリマス、又斯クノ如ク鐵道省ダケガ色々ナ改良ヲ致シマシテモ、外地ノ占領シテ居ル所ニ於テ相當車輛トカ、線路ノ整備ヲ必要トスルと思フノデアリマス、鐵道省ハ陸運ノ本家ダト思フノデアリマス、ソレニ付テ御供出ナリ、或ハ御援助ヲナサレナケレバナラスト思フノデアリマスガ、其ノ點ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣 只今御話ノ如ク資材、殊ニ主要資材、鋼材等ノ問題ガ鐵道トシテハ、

鐵道ガ讀シテ名前ノ示ス如ク鐵材ナシニハ實ハ施設ハ出來ナイ性質デアリマスノデ、私共モ此ノ問題ニ付キマシテハ、常ニ凡ユル考慮ヲ廻ラシテ居ルデアリマス、先程モ申上ゲマシタガ、私共ハ此ノ時局ニ鑑ミマシテ最小限度ノ施設、而シテ最小限度ノ必要ナル資材ヲ要求致シテ居ルデアリマス、併シナガラ尙且ツ是ガ吾々ノ考ヘマスルヤウニ必要トシマスル程度ニハ事實中々參ラスト云フコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマスノデ、先程申述ベマシタル通り、最小限度ノ資材ヲ得マシテ、而モ足ラザル所ハ他カラ部内デ之ヲ急速ニ融通スル、尙ホ足ラザルモノハ鐵ヲ木材ニ替ヘル、或ハ「コンクリート」ニ替ヘルト云フヤウナコトニ依リマシテ、ドウシテモ施設ダケハヤツテ行クト云フ覺悟ヲ持ツテ居ルデアリマス

第二ノ御尋ネノ、完成マデ日ガ掛ル、容易デハナイ、是モ全ク御説ノ通りデアリマシテ、只今施設局長ヨリ一寸申上ゲマシタヤウニ、應急ノ施設ヲシツツ稍、恒久的ナル施設ヲ致シ、而シテ假施設ノ儘之ヲ此ノ陸運非常體制ノ目的ニ向ツテ一步デモ實行ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマス、即チ施設ト輸送力トガ段階的ニ進ンデ行ク、隨テ輸送量ガ之ニ依ツテ増加サレテ行ク、斯ウ云フ風ナ考ヘテ持ツテ進ンデ居ル譯デアリマス、殊ニ只今御話ノアリマシタル車輛ト云フ問題ハ、線路ガ假ニ相當ノ容量ニナツタト致シマシテモ、車輛ナシニハドウシテモ石炭、其ノ他ノ重要物資ヲ運ブコトガ出來ナイデアリマス、殊ニ先程業務局長カラ一寸申上ゲマシタヤウニ、石炭ニ致シマシテモ、海上ノ遠距離輸送ガ陸上ニ

移ルデアリマスカラ、從來ノ陸上ニ於ケル陸運ノ輸送距離ニ比シマシテ數倍、又ハモツト以上ノ輸送距離ニナリマスノデ、貨車ノ輸送効率ハドウシテモ惡クナル譯デアリマスカラ、比較的多クノ車輛ガ要ルト云フコトモ特殊ノ物資ニ付テハ已ムヲ得ナイノデアリマス、隨テ車輛ト云フ問題ニ付キマシテハ、ドウシテモ之ヲ相當數増備シナケレバナラスト、所ガ是ガ資材ガ要ルト云フコトニナルデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、凡ユル施設ヲ戰時規格ニ依ツテヤルデアリマスガ、殊ニ車輛ニ付キマシテハ一段ト極度ノ戰時規格化ニ依ツテ今後ノ製作ヲ致シテ參ル積リデアルノデアリマス、尙ホ今日マデノ車輛モ、先程申上ゲマシタヤウニ、各種ノ車輛ヲ此ノ非常體制ノ貨物輸送等ニ之ヲ改造シ、若クハ流用シテ行クト云フコトニ付キマシテモ十分ナル考ヘヲ以テ只今實行ニ移シツツアルノデアリマス、此ノ車輛ノ問題ニ付キマシテハ、只今御尋ネノアリマシタル増積ト云フコトニ付キマシテモ既ニ實行サレテ居ルデアリマス、今後之ニ付テ更ニ戰時ニ於ケル増積、荷重ノ増加ト云フコトニ付キマシテハ一層ノ工夫ヲ致ス積リデアリマス、殊ニ貨車ノ今後製作致シマスモノニ付キマシテハ、鐵道省ニ於ケル專門ノ部局ニ於テ特別ナ考慮ヲ拂ヒマシテ、謂ハバ戰時型貨車、戰時型機關車ト云フモノニ付キマシテ設計ヲ致シテ、之ヲ製作シテ行ク積リデアリマス、即チ比較的小イ鋼材ヲ以テヨリ多クノ輸送力ヲ持ツ所ノ所謂荷重ノ多い車ヲ製作シテ行ク、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルデアリマス、御承知ノヤウニ、大體過去ニ於ケル國有鐵道ノ貨車ハ線路「メートル」ナ

ラ「メートル」ニ對シマシテ或ル程度ノ荷重ノ容量シカ貨車ガ持ツテ居ラヌデアリマス、大體ハ一定シテ居ルデアリマスガ、之ヲ更ニ數割増加スルヤウナ貨車ヲ製作スル、之ニ依リマシテ同ジ長サノ貨物列車デ、其ノ輸送力等ニ於キマシテハ遙カニ多イ所ノモノヲ造ラウト云フコトデ、既ニ其ノ方同ニ向ツテ進ンデ居ル譯デアリマス、斯様ナコトニ依リマシテ、出來ルダケ資材、殊ニ鋼材ノ節約ヲ致シテ參ル譯デアリマス

最後ニ御尋ネニナリマシタル所ノ、是ハ内地バカリノ問題デハナク、大陸其ノ他ノ問題ニ付テ一緒ニ考慮シナケレバナラスト云フコトハ御話ノ通りデアリマシテ、御承知ノ通り、之ニ付キマシテハ資材或ハ車輛ニ付テ日滿支ヲ通ジテノ懇談會ガ設ケラレ、之ニ依ツテ内地ノ鐵道ノミナラズ、外地、滿洲、支那ヲ通ジマシテノ是等ノ輸送器材ニ對スル綜合的計畫ヲ立テ、又鐵道省ガ場合ニ依リマシテハ是ガ代調辨ヲスルト云フヤウナ、實質的ニ於キマシテハ綜合的ノ計畫ヲ立テ、サウシテ工業能力ト配合ハセマシテ、最モ有效ナ工夫ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、南方等ニ付キマシテモ——是ハ軍政下デアリマスカラ、私カラハツキリシタコトヲ申上ゲル譯ニ行キマセスガ、大體必要アル場合ニハ同様ナル考ヘヲ以テ、鐵道省ト致シマシテハ敢テ鐵道省直接ノ器材バカリデナク、内外ニ互ツテ十分ナル協力ヲ致ス考ヘデ居ル次第デアリマス

○新井委員 最後ニモウ一點御伺ヒ致シタイト存ジマス、陸運機關ノ綜合統制ノ問題デアリマス、初メ一寸申上ゲタ通り、海上ノ貨物ガ陸運ニ段々轉化シテ參ル、サウ

ナリマス、是ハ國有鐵道ダケニ限ラレタ問題デナイト思ヒマス、無論大部分ハ國有鐵道ノ責任ニ於テ致サナケレバナラスト思ヒマスガ、其ノ外ノ自動車ナリ、地方鐵道ナリ、軌道ナリ、或ハ小運送業者ト云フヤウナモノニモ此ノ陸運ノ非常體制ガ影響スル所非常ニ多イト思フデアリマス、鐵道省ハ此ノ綜合輸送力ヲ最高度ニ發揮スル爲ニドウ云フ方途ヲ講ゼラレテ居リマスカ、又ドウ云フ御對策ヲ御考ヘニナツテ居リマスカ、尙ホ是等ノモノニ對シテ、現在ハ造船ト云フコトガ非常ニ流行リ物デアリマシテ、何事モ先ヅ船舶ヲ造ルコトダト申シテ居リマスガ、船舶ヲ造ル爲ニハ陸上施設ノ完備ガ必要ダト思ヒマスノデ、私自身ト致シマシテハ、造船工業ト同様ニ鐵道工業ヲヤラナケレバナラスト思フデアリマス、特ニ車輛工業ヲヤラナケレバナラスト思フデアリマスガ、鐵道省ハ此ノ車輛工業ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居ラレマスカ、ソレダケヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 御話ノ通り、今回ノ陸運非常體制ハ、全ク全陸運機關ノ綜合力ヲ發揮スルト云フコトニ依ツテノ初メテ其ノ效果ヲ舉ゲ得ル譯デアリマスノデ、地方鐵道、軌道、小運送、自動車等ヲ總テ先程述べマシタル方針ニ基キマシテ鐵道省ハ監督指導シテ參ル、又助長シテ參ル考ヘデ進ンデ居ル譯デアリマス、例ヘバ地方鐵道、軌道等ニ付キマシテハ、丁度鐵道省ノ直營デアル國有鐵道ガ考ヘテ居リマスルト同ジヤウナ原則ノ下ニ地方鐵道モ動イテ居リマス、小運送ニ付キマシテハ、御承知ノ通り既ニ相當整備サレマシテ、日本通運株式會社ノ統制ノ下ニ、全國的

ニ鐵道輸送ト首尾一貫シテ此ノ目的ニ向ツテ相當其ノ體制ヲ整ヘテ參ツタノデアリマス、又自動車ニ付キマシテモ、「バス」「トラック」共ニ同様ノ方針ヲ以チマシテ、先ヅ現在持ツテ居ル所ノ施設ヲ最モ有效ニ活用スル、ソレガ爲ニ必要ナル多數ノ事業者ヲ出來ルダテ統合致シ、而シテ一方ニ於テハ組合或ハ組合聯合會ノ統制力ヲ強化シ、全國一體トナツテ、同時ニ又鐵道輸送ト緊密ナル連絡ヲ保ツテ總力ヲ舉グルヤウナ方策ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、而シテ之ニ必要ナル統合ノ實施問題ニ付キマシテモ、既ニ旅客、貨物ニ關シテモ現在相當進シテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、尙ホ今議會ニ之ニ必要ナル自動車交通事業法ノ改正案モ提出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又一方ニ於キマシテ、官民協力致シテ此ノ時局ヲ切抜ケルト云フ意味ニ於キマシテ、國營自動車ニ付テハ、鐵道省ハ之ヲ更ニ擴充致シマシテ、一ツニハ重要物資ノ地方ニ於ケル原產地輸送ニ對シテ協力シ、又大都會附近ニ於ケル所ノ鐵道貨物ノ中繼輸送ニ付テモ直營スルコトニ致シ、官民相俟ツテ全陸運ノ遺憾ナキ綜合力發揮ノ實施ヲ致スヤウニ既ニ進シテ居ル譯デゴザイマスガ、今後ニ於キマシテモ、總テノ政策、總テノ實施ハ悉ク此ノ全陸運ノ綜合力發揮、而シテ非常體制確立ノ方針ニ基キマシテ指導シテ參ル積リデ居ルデアリマス

最後ニ御尋ネノ車輛ノ資材ニ付キマシテハ、物動計畫ニ於テハ大體船舶用ト同様ナ特別ノ取扱ヲ得テ居ルデアリマスガ、只今ノ御話ノ如ク、現在最モ緊急ナリト云フ其ノ程度カラ、造船資材ノ方ニドウシテモ重キガ置カレル譯デアリマス、併シ同時ニ

先程モ申シマシタヤウナ觀點カラ、是非此ノ車輛問題ニ付テハ、其ノ資材ノ確保ハ造船ト全ク同ジ重要性ヲ以テ今後進シデ行キ、確保シテ參ラナケレバナラスト私共ハ痛感致シテ居ル次第デアリマシテ、茲ニ初メテ陸海相協力致シマシテ、戰時非常輸送ノ能力ヲ發揮スルコトガ出來ルノデアルト考ヘテ、只今御話ノ點ハ私共ノ最モ關心ヲ持ツテ居ル點デアルデアリマス

○新井委員 以上ヲ以チマシテ私ノ大臣ニ對スル質問ハ終リマシタ、長時間ニ互リマシテ諸般ノ問題ニ付テ懇切丁寧ナル御説明ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、大臣或ハ政府ニ於キマシテ以上ノヤウナ確信ヲ御持チニナツテ居ル以上ハ、此ノ十二鐵道ノ買収ニ付キマシテモ、私十分了承シ贊意ヲ表スル次第デゴザイマス

次ニ朝鮮鐵道ノコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、私此ノ鐵道ノ買収ニ付テ異議ガアル譯デハナイノデアリマスガ、私實ハ最近マデ大陸生活ヲ致シマシテ、大陸鐵道ノ根幹デアル朝鮮鐵道ガ南市、新義州間ニ於テ隘路ニナツテ居ル、是ガ非常ナ痛ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ度此ノ線ヲ買収サレルト云フコトハ結構デアリマスガ、一寸素人考ヘデ見マスルト、斯ウ云フ線ガ二本アルカラ複線ノ作用ヲスラダラウト云フ風ニ、今一寸内務次官カラ言ハレタト思ヒマスガ、是ガ離レテ居リマス鐵道ガ二本アツテモ複線ノ作用ヲ致サスト私ハ思フノデアリマス、就キマシテハ朝鮮鐵道局ハ此ノドチカラヲ急速ニ複線化スル御考ヘガアルカドウカ伺ヒタイノデアリマス

○水田政府委員 鐵道ノコトニ付キマシテ非常ニ御造詣ノアル御言葉デアリマシテ、私ハ寧ろ素人デアリマスルガ、ヤハリ朝鮮ノ鐵道當局ト致シマシテモ、是ガ離レテ居リマスルト、兩方デ複線ノ作用ヲナスト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、況ヤ新義州カラ南市ヘ參リマスル現在ノ國鐵ハ、差上ガマシタ圖面ノ白馬ノ附近デ、非常ナ勾配等ノ關係デ隘路ニナツテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ今度買収致シマス此ノ私設鐵道ノ方ガ平坦デモアリマスルシ、距離モ十一「キロ」短クアリマスルノデ、買収鐵道ヲ補強スルト同時ニ、コチラノ方面ニ複線ヲ拵ヘヨウト云フコトデ、豫算ニ於キマシテモ其ノ意味ニ於テ御協賛ヲ御願ヒ致シテ居ル次第デアリマス

○新井委員 此ノ複線化ノ豫算ハ次年度ノ豫算ニ出テ居リマスカ

○水田政府委員 昭和十八年度以降ノ鐵道建設費及ビ改良費ノ繼續費ト致シマシテ御協賛ヲ御願ヒ致シテ居ル譯デアリマス

○横川委員長 新井君、モウ宜シウゴザイマスカ——逢澤寬君

○逢澤委員 私ハ少シ時間ニ遲レテ來シテ失禮致シマシタガ、最後ニ鐵道大臣ノ御話デ私ノ御尋ネショウト云フ大體的ノ所ハ擱ミマシタノデスガ、海運ガ戰時態勢ニ向ツテ目下ノ非常ナ重要問題トシマシテ唱ヘラレテ居ル所ハ御承知ノ通りナノデアリマスルガ、私ハ此ノ海運ノ重要性ト同時ニ、陸運ト云フモノノ同ジ意味合デ考ヘルベキモノデアラウト思ヒマス、只今ノ御話ニ依リマシテ私ノ了承致シタト申シマスノハ、其ノ積リデヤツテ居ルノダ、斯ウ云フ御話デ私ハ了承ガ行クノデアリマスルガ、尙ホ茲ニ一應御尋ネ致シテ見タイト思ヒマスノハ、其ノ凡ユル運送ニ對スル施設、特ニ車輛ノ

増設ナドニ對シテハ相當ノ自信ノアルヤウナ御話デアリマスルガ、是ハ結局ノ所ガ分捕リ主義ト云フ意味合デナシニ、協力スルト云フ意味合ニ於キマシテ、相當ノ能率昂揚ニ對スル割當ノ御自信ガアルカナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス更ニ又只今前ニ同僚議員カラ御尋ネニナツタノデアリマスガ、鐵道輸送ト鐵道建設、鐵道改良ニ對スル戰時計畫ニ付キマシテノ大臣ノ御話ガナカツタヤニ承リマシタ、ソレハ車輛ノ點ニ於キマシテハ若干アツタヤウニ承ルノデアリマスルガ、其ノ程度ヲ以テ此ノ戰時ヲ乗切ルダケノ用意ガアルカナイカ、五十年、百年ヲ堅持シテ行クト云フヤウナ強力ナモノデナクトモ、コノ數年間デモ宜イ、此ノ戰時ヲ乗切ル爲ニヤル鐵道ガ、斯ウ云フヤウナ氣持デ戰時對策トシテヤルト云フヤウナ根本的ノ御對策ヲ持ツテイラツシヤルカドウカ、船舶ノ分野カラ見マスルト、戰時造船計畫ト云フモノハサウ長期ノモノデナイ、短期間ヲ以テ此ノ戰爭ヲ乗切ル爲ニ造ルノダ、斯ウ云フヤウナ計畫ヲ持ツテイラツシヤルヤウニ承ツテ居リマス、隨テ海上輸送ト同様ノ重要性ヲ持ツ鐵道ニ對シテモ、サウシタ御考ヘガアツテ御臨ミニナルカドウカト云フコト、隨ヒマシテサウナリマスルト、先程ノ御話デ承知出來マシタ車輛ノ建造ナドニ對シマシテハ、其ノ荷重ノ點ニ於キマシテモ今迄ノ二倍三倍モノ重量ヲ受ケル貨車ヲ造ツテ、サウシテ貨車ノ長サハサウ長クナクトモ、其ノ運送量ニ於テハ相當大キナモノヲヤル、是ハ私共當局ノ御苦心ヲ感謝スルノデアリマスガ、其ノ鐵道線路自體ノ建設ニ當リマシテモ、隘路ナドノ所ヲ建設スルニ付キマシテ

モ、サウ永久的ノ考ヘデナシニ此ノ戰爭ヲ勝抜ク爲ニ、特別ニ其ノ隘路ヲ切開イテ、サウシテ相當ノ交通量ヲ作ル、斯ウ云フ根本的ノ御考ヘ方ガアルカナイカト云フコトヲ一應御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今最初ニ御話ニナリマシタ海運ト陸運トハ、御話ノ通り私共モ考ヘテ居リマスノ協助力ト云フヨリモモウ一體ニ考ヘナケレバナラスト存ジテ居リマス、隨ヒマシテ只今ノ山陽線沿道ハ先程新井委員カラ御話ノアリマシタヤウニ、アノ地帯ハ是ハ逢澤委員ハ最モ能ク御承知ノコトデアリマスガ、瀬戸内海ノ海運ガ主デアツテ鐵道ハ寧ろ貨物ニ付キマシテハ從的立場ニアツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ今後ニ於キマシテモ例ヘバ機帆船ノ輸送、是ハ海ヲ行クモノデアリマスガ、内國の輸送ト云フ點ニ於キマシテハ、鐵道ノ輸送ト全ク其ノ性質ヲ同ジクスルモノデアリマスノデ、新クノ如キ點ニ於キマシテ全ク一體ニナツテ有無相通ジテ、此ノ時局ノ要請ニ應ジ、海陸輸送一體、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又外ニ付キマシテモヤハリ企業院ニ於ケル戰時輸送ノ委員會ニ於キマシテ、其ノ根本方針ガ決マリマスガ、海陸一體ト云フ原則デ、要スルニ輸送ト云フ點カラ致シマスレバ、海モ陸モナイ譯デアリマスカラ、其ノ大局ニ立ツテ鐵道省ニ於キマシテモ考ヘテ參ル、隨ヒマシテ只今特ニ御尋ネハゴザイマセヌデシタガ、御考ヘノ通り今後モ私共ハ強ク此ノ點ニ付キマシテハ、指導方針ヲ持ツテ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス

資材ノ割當ニ付テ確信ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、大體新井委員ノ御尋ネニ對シマシテ一應御答ヘ致シテ置

イタノデアリマスルガ、豫算、隨テ資金ノ問題ニ付テハ心配ガナイ思イマス、資材ノ點ニ付キマシテハ、初メハ計畫ガ立チマシテモ、是マデノ實績ニ依リマス、實際ニ當ツテ、他ニヨリ必要ナル所ガ生ズルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、決シテ樂觀ハ出來ナイ、吾々ハ出來ルダケ之ニ對シマシテ關心ヲ持ツテ力ヲ致シテ參リタイト思ツテ居リマス、其ノ足ラザル所ハ先程新井委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタガ、活用、假施設、應急施設等ヲ以テ鐵ノ足ラヌ所ハ木材、木材ノ足ラヌ所ハ或ハ他ノ資材ヲ以テ、施設、方法ニ依ツテ進ンデ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、之ニ關聯致シマシテ、戰時規格ニ對シテ御尋ネガアリマシタガ、是モ先程一應ハ申上ゲタノデアリマスルガ、此ノ資材ノ問題、或ハ勞務ノ問題ガ戰時下ニ於テ各方面ニ緊迫シテ參ルト云フコトハ、ドウシテモ已ムヲ得ナイコトデアリマス、隨ヒマシテ之ニ對スル方法トシテハ、申スマデモナク一方ニハ生産其ノモノノ増強ガ必要デアリマスガ、同時ニ最モ注意スベキハ、如何ニシテ一定ノ資材ヲ最モ有效ニ使フカト云フ問題ガ最モ重要ナル、而モソレガ實行シ得ル所ノ方法デアリマス、所ガ私共ノ見ル所デハ、支那事變以來此ノ點ニ付キマシテハ、ドチラカト申シマスル、十分力ガ官民共ニ至ツテ居ラスカト考ヘルノデアリマス、例ヘバ一例「セメント」ニ取ツテ見マス、平時ニ於キマシテハ御承知ノ通り、「セメント」一ニ對シテ砂ガ幾ラ、砂利ガ幾ラ、斯ウ云フノガチヤント仕様書ニ書イテアル、其ノ仕様書ノ青寫眞或ハ印刷物デ、官民各方面ニ一定ノ規格トシテ定メラレテ居ルモノデアリマスルカラ、何等カ茲ニ強力ナル

注意ガ別ニ喚起サレマセスト、技術並ニ施工ノ方法ニ於キマシテハ、兎角其ノ規定ノ青寫眞ナリ、或ハ其ノ印刷物ニ從ツテ「セメント」ヲ使ツテ行ク、所ガ戰時ニ於テ「セメント」不足ハ石炭等ノ關係ガ當然起ルノデアリマスルカラ、戰時ノ頭デ以テ見マスルナラバ、只今御話ノアツタ通り、壽命トカ、或ハ安全率ト云フモノハ一時低下致シマスケレドモ、十分「セメント」ノ使用量ヲ節約シ得ル、而モ實用ニハ十分ニ足リ得ルニ拘ラズ、ヤハリ依然トシテ過去ノ仕様書或ハ青寫眞ト云フヤウナ規格ニ囚ハレルノデアリマス、何故カナラバサウ云フ規格ノ變更ト云フコトハ、中々時間ヲ要スル、議論モアルモノデアリマスルカラ、兎角過去ノモノニ從ヒ易イノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、昨年私共ハ十分力ヲ致シタノデアリマシテ、昨年閣議ニ於キマシテ總テノモノニ對シテ、戰時規格ヲ實行スルコトガ根本方針ニ決定サレタノデアリマス、鐵道省ニ於キマシテハ、ソレ以前ヨリ既ニ事變ノ始マツテ以來、此ノ方向ニ向ツテハ相當努力致シテ居ルヤウデアリマス、而モ大東亞戰爭開始以來ハ、一層此ノ點ニ付テ特別ナル力ヲ致シテ居リマス、先程一寸申述べマシタガ、機關車、貨車ニ對スル戰時型機關車、戰時型貨車ト云フモノハソコカラ生レ出タノデアリマシテ、之ニ依ツテ同ジ重サノ鐵材ヲ以テヨリ多クノ容量ノアル、積載量ノアル、又牽引力ノアル機關車、貨車ヲ造ル計畫ヲ立テマシテ、今後出來ルモノハソレニ依ツテ造ラレルノデアリマス、之ニ依ツテ數割ノ鐵材ヲ節約シテ、同時ニ自重ガ減リマスカラ、詰リ自分ノ目方ガ減リマスカラ、全重量ヲ同ジトスレバ、荷重、詰リ輸送量ハ殖エテ

參ル譯デアリマス、斯様ナル方針デ先程一寸申上ゲマシタガ、數割貨物列車ニ於テモ増スコトガ出來ルト云フ確信ヲ持ツテ、今ノ戰時規格ヲ實行シツツアル譯デアリマス、隨ヒマシテ只今特ニ御述ベニナリマシタ安全「ケース」、ソレカラ又壽命ト云フヤウナモノハ、此ノ點ニ於キマシテハ相當之ヲ少クスルコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ進ンデ居リマス、其ノ他ノ固定スル所ノ施設ニ付キマシテモ、其ノ設計ナリ、或ハ施工方法等ニ付キマシテハ「セメント」以外ニ付キマシテモ、十分節約シテ參ルト云フコトガ既ニ實行サレテ居リマスルガ、尙ホ今後一層ヤリマセヌケレバ、到底此ノ陸運非常體制ニ依リマス所ノ、今後激増スル海運ヨリノ轉移或ハ自動車ヨリ轉移轉移スル所ノ貨物ヲ輸送スルコトハ出來ナイ、斯ウ考ヘマシテ、是ハ絕對必要性質ヲ吾々ヲシテソコマデ追込ンデ來テ居ルコトト考ヘル次第デアリマス

○逢澤委員、時間ガアリマセヌノデ詳シクハ申シマセヌ、唯一應御尋ネシタイト思ヒマス、只今大臣ノ御話デ能ク諒解ガ行キマシタガ、ソレニ關聯シテ鐵道省ハ御承知ノ現業官廳デアツテ、今此ノ非常時態ニ即シマシテ、海ノ仕事マデ引受ケテヤラナケレバナラスト云フヤウナ非常ナ重要ナ役所ニナツテ來テ居ルノデアリマスカラ、其ノ際ニ行政ノ簡素化ガ問題トナルノデアリマスガ、此ノ現業官廳ガ他ノ官廳ト同様ニ行政ヲ簡素ニシテ、洵ニ御多忙ノ中ニ於テ相當數ノオ役人ノ轉換ガアツタヤウニ承ルノデアリマスガ、左様ナコトヲオヤリニナツテ、尙ホ餘力ガアリマスカドウカヲ御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス、國民ハ皆若イ者ハ兵隊

ニ、或ハ徵用等ニ依ツテソレノ各ノ職
場ニ非常ナ努力ヲ續ケテ居ル其ノ際ガアル
カラ、オ役所モ成タケ行政ヲ簡素ニシテ、
サウシテ人間ヲ減シテ、國務ニ當ラウト云フ
此ノ御氣持ハ能ク分リマス、併シナガラ仕
事ノ行詰リトハ申シマセヌガ、仕事ノ進行
ニ支障ガアツテマデ行政ノ簡素化ニ併行シ
テヤルト云フコトハ、私ハ間違ヒデハナイ
カト思ヒマスノデ、支障ハアルトモ私ハ斷
定ハ申シマセヌガ、私共若干關係ヲ有シテ
居リマスガ、鐵道省内ノ或ル所ニ於キマシ
テハ、行政ヲ簡素ニシタ爲ニ、事務ニ若干
ノ停滯ヲ見テ居ルヤウナコトガアルヤニ拜
承シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ガ
行政ノ簡素化上、他ノ官廳トノ鈞合上之ヲ
ヤラナケレバナラス、斯ウ云フコトハ洵ニ
残念ナコトデアラウト思フノデアリマス、
此ノ鐵道戰時態勢ヲ整備シテ行ク上ニ付キ
マシテモ、之ヲ強化シテ行ク上ニ付キマシ
テモ、其ノ人材ハ多々益、必要デハナイカト
思フ、其ノ役所ノ人材モ必要デハナイカ、
其ノ時ニ方ツテ行政簡素化ナルガ爲ニ他ノ
役所ニ追從シテ行ク必要ハナイノデハナイ
カ、毅然トシテヤハリ鐵道ノ大使命ヲ達成
シテ行キマスニハ、他ノ官廳ニ右顧左盼ス
ルコトナク、堂々トシテソレヲオヤリニナ
ルコトガ、結局陸上交通ニ支障ナカラシメ
ルコトニナルノデハナイカト思ヒマスガ、
之ニ對スル大臣ノ御所見ヲハツキ承リタ
イト思ヒマス

○八田國務大臣 鐵道省ニ於キマシテモ、
昨年ノ閣議ノ方針ニ基キマシテ、所謂行政
簡素強化ト云フコトノ方針ニ基キマシテ減
員ヲ致シマシタ、此ノ定員ノ減員ハ御承知ノ
通り、當時發表サレマシタル通り、判任官以

上ニ付キマシテハ定員ニ對シテ幾ラ、ソレカ
ラ雇員以下ニ付キマシテハ豫算ノ定員ニ對
シテ幾ラ、斯ウ云フ風ナコトニナツテ居リマ
ス、即チ中央ニ於テハ總テ三割、地方ニ於
キマシテハ二割、其ノ他現業第一線ニ於キ
マシテハ一割、斯ウ云フヤウナヤリ方デ定
員ヲ減ラシタノデアリマス、御話ノ如ク現
業官廳ニ於キマシテハ此ノ問題ハ實ニ辛イ
仕事デアリマス、併シナガラ今日大東亞建
設ノ爲ニ鐵道省ニ於キマシテモサウデアリ
マスルガ、各方面非常ナ多數ノ人ヲ送出シ
テ居リマスル際、鐵道省ニ於キマシテモ現
業官廳デハアリマスルケレドモ、此ノ閣議
ノ決定ノ方針ニ基キマシテ、出來ルダケノ
減員ヲ致シ、其ノ方面ニ協力スルト云フコト
ヲ決心致シマシテ斷行致シタ次第デアリマ
ス、ソコデ問題ニナリマスノハ、主トシテ
現業員ノ第一線ノ問題デアリマス、是モ豫
算定員デアリマスルカラ、實際ニハ此ノ現
在員ヲ減ラス程度ハ少イノデアリマス、寧
ロ判任官以上ニ於テヨリ多クノ現在員ガ減
ゼラレノデアリマスルガ、何レニ致シマ
シテモ増員ト云フモノガ中々出來ナイノデ
アリマスルカラ、現業ニ取リマシテハ非常
ニ辛イ仕事デアリマス、併シナガラ是ハ大
局カラ見マシテ之ヲ斷行致シタル以上、之
ヲ補ツテ參リマスル所ノ方法ト致シマシテ
ハ、此ノ中央及ビ地方ノ機構ヲ根本的ニ簡
素化スル必要ヲ生ジマシテ、既ニ御承知ト
存ジマスルガ、昨年十一月カラ此ノ鐵道省ヲ
中央地方ヲ通ジマシテ根本的ニ簡素ナル機
構ト致シタノデアリマス、之ニ依ツテ是等ノ
定員ヲ減ズルコトガ出來タノデアリマス、併
シ機構ダケデハ實際ハ中々參リマセヌ、ソコ
デ之ニ伴ヒマシテ事務ノ簡捷化ヲ圖ツタノ

デアリマス、即チ中央ノモノヲ地方ニ委譲シ、地
方ノモノヲ又現業ニ委譲スルト云フヤウニ、
出來ルダケ手續ヲ簡素化シテ日常ノ事務ヲ
減ス、而シテ事務ニ、即チ俗ニ申シマスル
「テンプル」ノ仕事ニ携ツテ居リマスル方面ノ
要員ヲ、現業方面ニ多ク振向ケルヤウナ方
策ヲ講ジマシテ、其ノ足ラザル所ヲ補ヒマ
シタ、從ヒマシテ現業其ノモノニ於キマシ
テハ、私共ト致シマシテハ一應ノ體制ガ整
ツテ居ルト考ヘルノデアリマス、併シナガ
ラ只今御心配ニナリマシタヤウニ、今後段
段業務ガ繁劇ニナツテ參リマスルト、或ル
程度ノ増員ト云フコトハ已ムヲ得ナイト思
ヒマスルガ、而モ是ハ最小限度ニ止メテ行
カナケレバナラスト考ヘマス、殊ニ只今事
務所ノ點ニ付キマシテ御心配ガアリマシタ
ガ、例ヘバ中央ニ於キマシテモ今マデ十ア
ツタ中央ノ部局ヲ殆ド半減ノ六局ニ減シタ
ノデアリマス、又地方ニ於ケル所ノ事務所
モ、例ヘバ運輸事務所、保線事務所ト云フ
ヤウナモノヲ、一括シテ一ツノ事務所ト致
シマシテ、之ヲ半減致シマシタ、同様ナ意
味ニ於キマシテ從來ノ工事事務所、改良事
務所ト云フモノモ之ヲ半減致シタノデアリ
マス、是ナシニハ到底此ノ定員ノ減少ト云
フモノハ出來ナイノデアリマシテ、其ノ定
員ヲ生ミ出スト云フ意味ト、從來考ヘテ居
ツタ所ノ機構ヲ出來ルダケ簡素化スルト云
フコトヲモ併セ其ノ際考慮致シマシテヤツ
タノデアリマス、隨ヒマシテ場所ニ依リマ
スルト多少ノ不便ヲ生ズル點ハ實ハ免レナ
イノデ、私共能ク承知シテ居リマスルガ、
是ハ此ノ足ラザル所ハ漸次之ヲ補強シテ參
ル考ヘデ居リマス、殊ニ現業其ノモノニ付
キマシテハ、十分ニ今後ノ實情ニ即シテ善

處シテ參ル覺悟ヲ持ツテ居ル次第デアリマ
ス

○横川委員長 逢澤君ドウデスカ、アナタ
ノ御質問ハ……

○逢澤委員 モウ二、三アルノデスガ……

○横川委員長 後日ニ保留サレテハ……

○逢澤委員 ソレデモ宜シウゴザイマス

○加藤(俊)委員 大體質疑ハ十分盡サレテ
居ルヤウデアリマスガ、私ハ此ノ機會ニ於テ
大臣ニ御尋ネラシテ置キタイノデアリマス

○横川委員長 加藤サンニ申上ゲマスガ、
マダ此ノ委員會ハ明日或ハ明後日續開サレ
マスカラ、今日ハ定刻デアリマスカラ此ノ
程度デ散會致シタイト思ヒマス、逢澤君ノ
質疑モマダアルノデスケレドモ、定刻デス
カラ改メテ……皆様ニ申上ゲマスガ、質疑
ハ大體通告順ニ依ツテ許スコトニナツテ居
リマスカラ、御希望ノ方ハ一ツ御通告ヲ願
ヒタイト存ジマス、只今ノ所逢澤君ヲ入レ
マシテ四名ノ通告ガアリマスガ、ドウゾ左
様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會ヲ
致シマス、大體明日ノ午前午後ニ開キタ
イト思ヒマス、是ハ委員會室ノ都合、速記ノ
都合等モアリマスカラ、公報ヲ以テ御通知
ヲ致シマス

正午散會

昭和十八年二月四日印刷

昭和十八年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局